

令和5年度ウェスタン健康科学大学薬学部との国際交流

渡邊 法男・加藤 文子
薬学部国際交流委員会

1. はじめに

愛知学院大学薬学部は、視野の広い未来を開拓する医療薬学専門人の育成の一環として、平成29年度よりアメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス郊外のポモナにあるウェスタン健康科学大学薬学部（Western University of Health Sciences, College of Pharmacy, 以下、ウェスタン大学薬学部）と国際交流協定を締結し、学生を派遣している。令和6年2月19日（月）から3月1日（金）まで、米国薬学研修を実施した。



2. 参加者

薬学部2～5年次生を対象として募集し、選考の結果、表1に示す11名の学生（5年生4名、3年生3名、2年生4名）が参加し、2名の教員が引率した。

表1. 参加学生・引率表員

参加学生		
学年	氏名	
5 年生	戎嶋	みなみ
5 年生	江本	鈴
5 年生	林	穂乃香
5 年生	森中	阿紀
3 年生	石川	貴子
3 年生	牧原	宝来
3 年生	松浦	明里
2 年生	松浦	光
2 年生	村岡	倫
2 年生	山田	真幸
2 年生	渡邊	翔真
引率教員		
臨床薬学講座	渡邊 法男	准教授
薬物治療学講座	加藤 文子	講師

3. 事前学習および準備

米国薬学研修への参加学生を対象に、事前学習会を開催し、①日本の医療保険制度、②日本の薬学部の教育と薬剤師の進路、③SOAP形式による薬歴の記載方法などに関する講義を行った。また、参加学生が2グループに分かれて、日本の保険薬局で取り扱う一般用医薬品の分類や胃腸薬、鎮痛薬、アレルギー薬、風邪薬の特徴について情報収集を行うとともに、ウェスタン大学の教員・学生に向けて日本の魅力を紹介する英語のプレゼンテーション資料を作成した。さらに、Pen Pal Programにて、渡米前より、ウェスタン大学薬学部と本学の参加学生がE-mailやSNSを利用して事前交流を行った。

4. 研修日程とスケジュール

全12日間の日程で渡米し、表2に示す7日間の研修プログラムを受講した。また、研修期間中に、参加学生がpen pal学生と個別に食事に行ったりするなどの学生間交流が盛んに行われていた。

週末には、ディズニelandやカリフォルニア市内観光を通じて、学生・教員間の親睦を深めた。

5. 研修内容

午前は、ウェスタン大学薬学部教員による講義を受講し、午後からは、実習、施設見学などが実施された。

講義の内容は、アメリカの医療制度、病院・地域薬局の薬剤師の役割、プロトコルに基づいたチーム医療、Evidence-Based Medicine (EBM) の意義や活用、SOAP の実践、専門薬剤師（がん・感染症）、医療経済、薬剤師の卒後教育制度、コミュニケーションスキルなど多岐にわたり、ディスカッションや演習を織り交ぜながら、講義が進められた。

実習では、ワクチン調製および接種、フィジカルアセスメント（血圧・脈拍の測定、耳中の観察、聴診器を用いた心音、肺音の確認など）の実習を行った。

施設見学では、ウェスタン大学薬学部の OSCE 施設や研究室、病院（Patient Care Center）および薬局、糖尿病クリニックの薬剤師外来、ワクチン接種などを見学した。

また、前日までに学んだことなどを翌日の朝に発表するチームプレゼンテーションの時間が設けられ、学生達の知識の定着や理解を深めることができた。

6. 所感

ウェスタン大学薬学部の研修において、学生たちは、講義や実習、医療施設の見学、pen pal 学生との交流などを通じて、貴重な経験をすることができた。

今回の研修は、2 年生から 5 年生まで幅広い学年が参加していたが、実務実習を経験している 5 年生が低学年の学生へ補足説明をしながら、共に学びあい、支えあい、高めあう様子が伺われた。また、研修期間中に、参加学生が自身の思いや考えを英語で担当教員に積極的に発言する機会が増えるなど、異国での薬学教育を体験する中で、学生の学習姿勢の行動変化が見られたことが印象的であった。

研修の後半には、新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した。このような困難な状況下でも、ウェスタン大学薬学部による、検査キットの無償提供、Patient Care Center への受診手配、対面授業・オンライン授業の併用など、研修継続のご支援により、学生全員が海外研修を無事に終了し、

帰国することができた。

今回、新型コロナウイルス感染症の集団感染という不測の事態が発生したが、参加学生にとっては、将来、医療薬学専門人になるための自覚、使命を体感する貴重な経験になったと感じている。

アメリカと日本では、医療制度や薬剤師に求められている職務の違いはあるものの、学生たちには、今回の研修をきっかけにグローバルな視点に立ち、自身の将来の薬剤師像を考え、大きく成長していくことを期待する。

最後に、米国薬学研修の実施に際しまして、ご協力とご支援をいただきましたウェスタン大学薬学部の Jeffrey Wang 先生ならびに関係各位、愛知学院大学薬学部の関係各位に厚く御礼申し上げます。また、通訳や学生・引率教員のサポートをいただいた Takako Kiener 先生に心からの感謝を申し上げます。



表 2. ウェスタン大学薬学部 研修スケジュール

Date	Time	Topics
2/19/2024 Monday	14:35 15:50 17:10 09:50 14:00	中部国際空港発 成田空港着 成田空港発 ロサンゼルス国際空港着 ホテル着
2/20/2024 Tuesday	09:00 – 10:00 10:00 – 11:00 11:00 – 12:00 13:00 – 14:00 14:00 – 15:00 15:00 – 17:00	Welcome and Orientation to Program Review of US Healthcare System Review of US Pharmacists Pharmacy Job Opportunities in the US Discussion Campus Tour
2/21/2024 Wednesday	09:00 – 10:00 10:00 – 12:00 Lunch Hour 13:00 – 15:00 15:00 – 17:00	Team Presentations Immunization Demo Welcome Session SOAP Note Case Discussion
2/22/2024 Thursday	09:00 – 10:00 10:00 – 12:00 Lunch Hour 13:00 – 17:00	Team Presentations Role of Hospital Pharmacists WesternU Student Presentation Physical Assessment
2/23/2024 Friday	09:00 – 10:00 10:00 – 12:00 Lunch Hour 13:00 – 17:00	Team Presentations Evidence Based Medicine (EBM) Japanese Students Presentation WesternU Patient Care Center, Pomona
2/23・24/2024 Saturday・Sunday	09:00 – 21:00	Excursions
2/26/2024 Monday	09:00 – 11:00 11:00 – 12:00 13:00 – 15:00 15:00 – 17:00	Role of Community Pharmacists, Travel Meds Role of Ambulatory Care Pharmacists, DM Clinic Pharmacoeconomics Pharmacy Specialists (ID, Oncology) Field Trip: Drug Store
2/27/2024 Tuesday	09:00 – 10:00 10:00 – 12:00 13:00 – 15:00 15:00 – 17:00	Team Discussion Pharmacy Education in the US, Advanced Rotations, Postgraduate Opportunities, Certifications Introduction to WesternU Pharmaceutical Research Communication Skills, Patient Counseling, OSCE
2/28/2024 Wednesday	09:00 – 10:00 10:00 – 12:00 Lunch Hour 13:00 – 15:00	Team Presentations Team Assignment (Prepare Final Presentations) Student Final Presentations / Farewell Luncheon Certificate Presentations
2/29/2024 Thursday	08:00 11:50	ホテル発 ロサンゼルス国際空港発
3/1/2024 Friday	16:40 18:30 19:45	成田空港着 成田空港発 中部国際空港着、現地解散

